



ねんりんピックまで **あと1年!**

「八頭町フルーツ将棋フェスティバル」開催

来年10月19日から22日に開催される「第36回全国健康福祉祭とっとり大会（ねんりんピックはばたけ鳥取2024）」は、高齢者を中心とした国体とも呼ばれ、スポーツや文化活動等を通じて、世代を超えて交流の輪を広げる健康と福祉の総合大会です。初めてとなる鳥取開催は、全市町村でスポーツや文化活動の交流など29種目が実施される予定で、八頭町では「将棋交流大会」が行われます。そのプレ大会として、「八頭町フルーツ将棋フェスティバル」を11月4日（土）、八東体育文化センターで開催しました。

将棋といえば、藤井聡太竜王が史上初の八冠を達成し、今大きな話題となっております。今回のメインイベントである将棋交流大会には、5歳から84歳まで、北は富山県、南は大分県から85名の愛将家が集まり、真剣勝負を繰り広げました。

また、ゲストにお迎えしたプロ棋士の斎藤慎太郎八段、室谷由紀女流三段、石本さくら女流二段、久保雅樹指導棋士四段によるトークショーでは、約250人が将棋の魅力や将棋界の内輪話など、ここでしか聞けない貴重な話を楽しみました。プロ棋士による指導対局には申し込みが殺到し、希望者全員が対局できないほどの人気ぶり！将棋体験コーナー

では、将棋教室が開催され、将棋が初めての子どもたちが楽しく学んでいました。最後は、ゲスト棋士のサイン色紙を懸けたじゃんけん大会が開催され、大盛況の内に閉会しました。鳥取県での開催まで一年を切った中で、将棋熱の高まりを感じる一日となりました。

ねんりんピック将棋交流大会では、全国から200名以上の選手が八頭町に集まります。選手だけでなく、地元の方々も楽しめる大会となるよう、将棋と八頭町の魅力をPRしながら、おもてなしの準備を進めていきます。

鳥取県のねんりんピック代表選手は、5月に開催される因伯シルバード大会で決定されます。参加を希望される方は、鳥取県社会福祉協議会のホームページをご覧ください。



あおやかみじろう